

令和6年度 オーガニックプロデューサー支援事業

オーガニックプロデューサーの取組について



2025年1月16日

一般社団法人 次代の農と食をつくる会



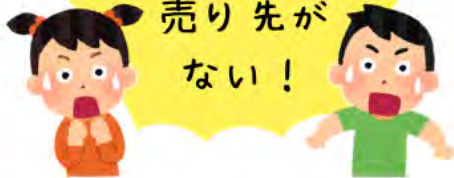
有機農業のお困りごと、ご相談ください！

初回無料相談実施中

※オンライン限定・1時間まで



有機の実証圃場を
始めてみたいね！



つくっても
売り先が
ない！

現役有機農家を中心とする専門家チームが
栽培技術、認証取得、産地づくりに至るまで
現場視点で丁寧にコンサルティングします

生産者支援

**有機栽培実証圃場運営の
監修・技術指導**

**慣行生産者に向けた
有機農業の技術導入支援**

**有機JAS、GAP等の
認証コンサルティング**

**販路開拓支援
実需者マッチング
加工品開発支援**

地域支援

**協議会設立に向けた
ファシリテーション**

**事業計画・ビジョン策定
ファシリテーション**

講演会講師の派遣

**他地域の取組や
支援事例の情報提供**

**PR動画や冊子等の
制作・発信支援**

私たちについて



千葉 康伸 代表理事／株式会社 農楽 代表取締役

土佐自然塾、山下農園で2年間研修したのち、神奈川県愛甲郡愛川町で新規就農。「五感を研ぎ澄まして、畑で自分の感性に焼き付けること」という山下一穂氏からの教えを実践。野菜類を約50品目栽培し、県内の生協・イオン・ビオセボン、小田原市内のレストランへの販売が主。農業を子供達の憧れの職業に！と願い、研修生の育成にも注力。また農場外でも有機農業参入促進協議会代表、アグリイノベーション大学校専任講師、丹波市立農の学校特別顧問を務める。2018年より「一般社団法人 次代の農と食をつくる会」代表理事。オーガニックや有機農業の枠をこえて、次代の持続可能で多様性のある豊かな社会を目指している。



高谷 裕一郎 理事／五段農園

岐阜県白川町で営農するほか、完熟堆肥の専門家としてコンサルティング活動や学校の主催、他事業と連携した堆肥づくりプロジェクトによる地域資源循環の実践と啓蒙、また自ら作った堆肥を使用した有機培養土の全国販売などをおこなう。奈良県天理市では、地域資源を効果的に活用した堆肥づくりの指導を実施。



森 昭暢 理事／安芸の山里農園 はなあふ

東広島市の中山間地で2011年から少量多品目栽培をおこない、地域での体験イベントや農園見学会などを実践。また土壌医として広島土壌医の会 会長をつとめ、また未来につながる持続可能な農業推進コンクールで農林水産省農産局長賞を受賞するなど、生産者としても多くの知見を有し講演活動などもおこなう。

私たちについて



松本 直之 監事／松本自然農園・株式会社ノーティスト・農Tube委員会

愛知県豊田市で少量多品目栽培に取り組むほか、野菜の収穫サブスク農園モデル「はたけビュッフェ」を2023年リリースし、都市近郊・中山間地など条件不利地域でも経営が成り立つ農業を提案。また農業YouTuberとして経営、栽培、農場や団体、制度や補助金、統計分析、農政などの情報をYouTube動画で配信。



高橋 勉 理事／株式会社マイファーム

国内最大級の有機JAS認証機関で2024年まで理事長を務めたのち、マイファームに移籍。オーガニックプロデューサーとして有機JAS認証やGAP認証に関するセミナーの実施や実情に応じたアドバイス、コンサルティングが可能。



種藤 潤 副代表理事／（一社）オーガニックヴィレッジジャパン

間宮 俊賢 副代表理事／事務局長

工藤 翔佳 事務局

事業実績

2016年-2018年度

農林水産省「オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築全国事業」のうち、生産・実需情報共有・調整システム構築支援事業／消費者・実需者等理解増進活動支援事業／新規参入・定着等促進支援事業等を担当。

2019年度より

農林水産省「有機農産物安定供給体制構築事業」のうちオーガニックビジネス拡大支援事業（令和6年度よりオーガニックプロデューサー支援事業）を担当。

2022年度より

- ・有機農業産地づくり推進事業（オーガニックビレッジ）に取り組む自治体に対する支援を開始。
- ・千葉県いすみ市の野菜栽培技術向上支援を開始。

2023年度より

- ・「グリーンな栽培体系への転換サポート」に取り組む自治体に対する支援を開始し、栽培マニュアル作成にかかる助言等も一部地域で実施。
- ・神奈川県相模原市の有機栽培実証事業などに対する通年監修を開始。

2024年度より

- ・茨城県笠間市の有機栽培実証事業などに対する通年監修を開始。また、オーガニックビレッジ宣言の発出に至るまでの計画づくり全般をサポート。
- ・香川県三豊市の有機栽培実証事業に対する通年監修を開始。
- ・兵庫県丹波市で「たんばオーガニックフェア」の企画運営を担当。

事業実績

farmO - ファーモ

生産者や買い手を応援し、オーガニックや有機農産物の流通を促進させるためのマッチングサイト構築と運営。（2024年4月より株式会社 坂ノ途中に事業譲渡）

次代の農と食を語る会（勉強会、交流会）

生産、流通、小売、IT、デザイン、料理人といった垣根をこえてつながり合い、深め合い、出会いと交流が生まれるサロンを目指して2018年より開始し、これまでに50回以上開催。

有機農業の日／オーガニックデイ

毎年12月8日「有機農業の日（オーガニックデイ）」事務局としてロゴマークやノベルティの頒布、SNSフォトコンテスト等を実施し、事業者を支援。



オーガニックプロデューサー支援事業の概要

有機農業の産地づくりに取り組む皆様へ

派遣費用
無料

有機農業推進総合対策事業補助金やみどりの食料システム戦略推進交付金を使って、有機農業の産地づくりに取り組む地域に、有機農法により収穫された農産物の販売の戦略について、アドバイス等をする「オーガニックプロデューサー」を派遣します（派遣費用は農水省より補助されるので、各地の皆様の御負担はありません）
先着順になりますので、御希望の方は、お早めに、以下お問い合わせ先へ、御電話下さい！

オーガニックプロデューサーとは？
有機農産物等の販売戦略の提案や助言、農業者と実需者との円滑なマッチングの促進を行う者。



送料が高い！
安く抑えたい！



今の出荷先だけでは
なく、他の出荷
先はないのか？

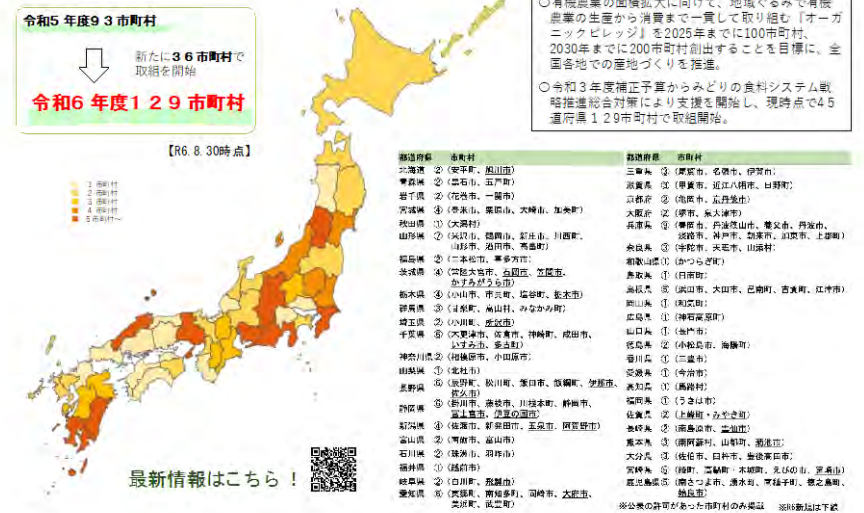


消費者を巻き込
んだイベントが
やれないか？



全国の有機農業産地に
「オーガニックプロデューサー」
を派遣して、課題解決を支援

全国のオーガニックビレッジ実施地区



オーガニックプロデューサー支援事業の概要

支援展開フロー

- ① ヒアリング 産地の現状と課題を丁寧に聞き取ります
- ② 支援内容のご提案 ヒアリングとご要望を踏まえて
- ③ 派遣の実施 伴走型支援 / **スポット支援**
- ④ 次回派遣の調整 フィードバックを踏まえてご提案します
- ⑤ 支援の終了 自走化に向けて

支援事例：千葉県いすみ市

担当OP：千葉康伸／橋本力男／川田肇

3年計画で生産技術指導と販路開拓、グループ出荷支援を中心に、野菜産地としての確立を目指す



有機野菜の栽培技術向上支援を3年プロジェクトで実施。専門家による土壌分析や完熟堆肥づくりレクチャーもおこなう。3年目は市内農地の土地改良をおこない、新規就農者らの学ぶ場所として研修圃場を設置。

販路開拓支援としては独自ブランド「いすみそだち」確立に向け、市内スーパーでの地産地消コーナーづくり、グループ出荷の展開を支援した。



支援事例：茨城県笠間市

担当OP：千葉康伸

協議会設立からオーガニックビレッジ宣言に至るまでの総合コンサルティング支援



笠間市として有機農業産地づくり推進事業に取り組む前年度より計画づくりに参画。長期的なビジョンづくり、協議会の立ち上げ、事業計画の立案段階から支援と助言をおこなう。

令和6年12月6日、オーガニックビレッジ宣言を発出し、実証圃場で収穫された有機米が市内の一部学校で給食に使用された。



支援事例：茨城県笠間市

担当OP：千葉康伸／川俣文人（民間稲作研究所）
有機水稻栽培実証圃場の通年監修と講師派遣



市内学校給食を将来的に100%有機米に切り替える
ビジョンのもと、有機水稻栽培実証圃場の通年監修
を令和6年度より開始。

有機生産者1名、あらたに有機栽培に取り組む慣行
生産者2名の協力を得て実証圃場を展開し、民間稲
作研究所の川俣氏の指導のもと、年間5回の技術講
習会を実施予定。



支援事例：神奈川県相模原市

担当OP：千葉康伸／木嶋利男ほか

実証圃場と連動した技術勉強会を通年で実施
有機農業の技術や知見を地域内に共有

令和5年度から市内4圃場での人参の栽培実証を通年監修。
視察・報告会と連動し、緑肥活用や減肥などのテーマで技術勉強会を実施。

農法に関わらず慣行生産者とも有機農業の優良な技術や知見を共有できる場とすることで、広く有機農業への理解を醸成し、市内農業全体がより循環型・地産地消に近づける事業づくりを目指し、市と協働している。

参加費無料
先着
35名様

有機栽培が
未経験の方も
お気軽にどうぞ！

農学博士の
木嶋利男先生、
相模原市に
再登場！



相模原市 有機栽培技術勉強会＋圃場視察会

異常気象に負けない オーガニックな栽培技術を学ぶ

～輪作・混植・連作の土づくり、病虫害対策～

日時 2024年10月30日(水) 13:00～16:30
前半:圃場視察会 13:00～14:15 後半:勉強会 14:30～16:30

会場 相模原市立 大沢公民館2階 大会議室
(緑区大島1776-5)
※前半の圃場視察会は、相模原市緑区内の実証圃場を巡回します。
詳しい番地や集合場所は、お申込みの方にご案内します。

お申し込み 

お記の二次元バーコードよりフォームに必要事項を
ご記入のうえ、お申込みください(定員35名・先着順)

支援事例：奈良県天理市

担当OP：高谷裕一郎／千葉康伸／木嶋利男

中山間地域コミュニティの再生を目指し、完熟堆肥を核とした循環型農業モデルの構築を支援



地域住民とともに中山間地域コミュニティの再生を目指す「大和高原福住村プロジェクト」の一環として、オーガニックビレッジの取り組みを支援。

地域の未利用資源をベースとした循環型農業モデルの構築に向けて、完熟堆肥づくりの技術指導や、堆肥舎の新規建設と稼働に向けた通年支援をおこなう。



その他の支援事例

兵庫県丹波市

有機農業に関心の高い著名人をゲストに迎え市民向け講演会を企画。後半では市内生産者とのクロストークを実施、また会場外でマルシェを同時開催することで、来場者にとっての体験価値の最大化と、消費行動の変容を目指した。マルシェは約30店舗が出店し、講演会は650名が参加。

香川県三豊市

生産基盤づくりに向け、有機栽培未経験の生産者3名の参加協力を得て、有機野菜実証圃場の通年監修を令和6年度より開始。現地指導とオンラインサポートを併用し、土壌分析の実施と解説、緑肥を活用した土づくり指導、作付け計画のサポートなどを実施中。

令和5年度は30地域、令和6年度は29地域に対して支援を実施中（令和6年12月現在。ヒアリングのみ実施した地域や、委託事業で支援している地域を含む）



参考：かながわオーガニックコミュニティ協議会のマニュアル作成サポート
「ニンジン有機栽培体系の確立及び作業の効率化の実証」
(グリーンな栽培体系への転換サポート)

1-5 土作り総括

MaruHana ファーム (伊勢原市)

〈表〉土壌診断結果 (Maruhanaファーム)

採土日	EC (mS/cm)	pH	NH ₄ -N (mg/100g)	NO ₃ -N (mg/100g)	P ₂ O ₅ (mg/100g)	CaO (mg/100g)	MgO (mg/100g)	K ₂ O (mg/100g)	CEC (meq/100g)	可給態窒素 (mg/100g)	CN比	CaO飽和度 (%)	MgO飽和度 (%)	K ₂ O飽和度 (%)	塩基飽和度 (%)	リン酸吸収係数 (mg/100g)	腐植 (%)	SiO ₂ (mg/100g)	Mn (mg/kg)	可給態鉄 (mg/kg)	Cu (mg/kg)	Zn (mg/kg)	B (mg/kg)	全炭素 (mg/100g)	全窒素 (mg/100g)
2022/08/08	0.08	6.30	0.5	1.7	20	328	60	114		2.0	12.0	51.3	13.1	10.6	75.0			87	2.9	64	2.7	4.9	0.27	2191	183
2022/09/16	0.05	6.10		0.3	10	327	61	106		3.0	11.2	51.1	13.3	9.9	74.3			90	1.3	84	2.2	4.3	0.18	2809	251
2022/11/01	0.05	6.45	1.1	0.3	12	272	52	88	22.8	3.3	10.6	42.6	11.3	8.2	62.1	1770	3.9	79	2.4	131	2.3	4.9	0.13	3096	293
2023/03/02	0.07	6.31	0.8	0.2	17	314	61	108	27.7	3.7	10.9	49.1	13.2	10.1	72.4	1680	4.1	86	4.9	94	2.2	4.6	0.32	3009	275
2023/05/01	0.09	6.11	1.0	1.4	20	305	67	115	28.3	5.7	9.7	47.6	14.5	10.7	72.9	1703	4.2	102	4.8	82	2.0	5.0	0.49	3862	400

標準値

258～322

46～70

22～43

40～50

10～15

2～4

52～69

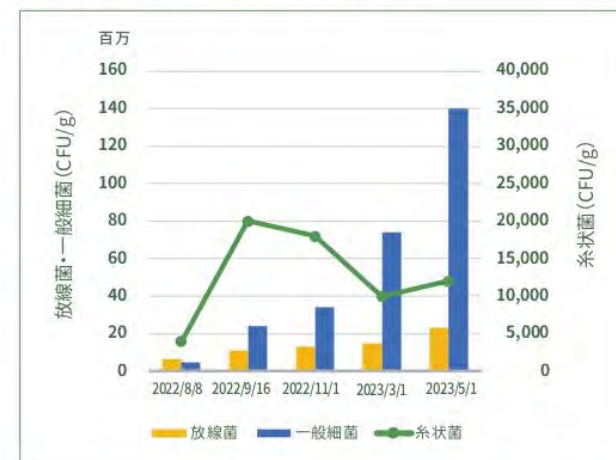
〈図〉各窒素の推移 (Maruhanaファーム)



〈図〉全炭素・全窒素・CN比の推移 (Maruhanaファーム)



〈図〉菌相の推移 (Maruhanaファーム)



YouTubeチャンネルで「オーガニックプロデューサーセミナー」好評配信中



お願いします！

令和2-3年度農林水産省 有機農産物 安定供給体制 構築事業のうち「オーガニックビジネス拡大支援事業」の一部として制作

お気軽にご相談ください



お問い合わせ先：

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村ビル4F

電話：050-8893-0159（平日10-18時） 担当：間宮

info@jidainokai.com / <http://jidainokai.com/>